

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年12月3日 19:06）

忠清南道瑞山市野鳥糞便から H5 亜型鳥インフルエンザ（AI）抗原検出

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmcmElMkY2OCUyRjMxODkzNSUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

（機械翻訳に基づく仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、11月27日に忠清南道瑞山市浅水湾及び海美川で採取した野鳥糞便に対する検査を実施したところ、12月3日に H5 亜型 AI 抗原が検出されたと発表した。

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針（SOP）により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
- ④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 2～3 日所要予定

□ 京畿道平沢市真偽川、華城市始華湖、全羅北道井邑市東津江下流で採取した野鳥糞便の精密検査の結果、12月3日低病原性であることが明らかとなった。

※京畿道利川市福河川の野鳥糞便は最終検査にて非検出